

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成29年度事業 点検・評価調書

3 - 3

3 - 3

章	第3章 佐渡金銀山の保存管理	取組項目	遺跡の保存等に係る調査研究の推進
節			
事業(施策)名	3 佐渡鉱山関係資料調査	事業主体	佐渡市世界遺産推進課
事業実施期間	H28～H34	関連団体	県文化行政課、佐渡市社会教育課
事業概要	<p>【事業目的】 構成資産の価値をより高め、遺跡の保存や整備活用のための基礎資料とするため、佐渡金銀山遺跡に係る調査研究を推進する。</p> <p>【事業内容】 構成資産に係る文献資料や絵図・図面類等の資料を対象とし、長期的な視点に立った調査研究の計画策定、構成資産の価値を深めるための研究を推進・継続する。</p>		
⑳ 事業計画と実績	<p>【29年度計画】 平成28年度から継続して、研究者と文献資料(川上家文書)の調査を実施する。 相川郷土博物館に所蔵される鉱山関係図面類のデジタル化を実施する。</p> <p>【29年度実績】 研究者へ文献資料(川上家文書)調査を依頼した。 デジタル化発注用の鉱山関係図面類530点の詳細調査(デジタル化候補物件・法量確認含む)を実施した。 き損した指定文化財の応急措置等を実施する必要性があったため、本事業に関連する予算を応急措置に伴う予算へ振り分けたことで、デジタル化事業に着手することができなかった。</p>		
課題・今後の取組	<p>【課題】 文献資料や絵図・図面類等の資料数が膨大であるため、今後も計画的に調査を実施する必要がある。</p> <p>【今後の取組】 優先すべき他事業(指定文化財の応急措置等)に着手する必要性が生じたことから、資料のデジタル化に伴う事業着手ができなかった。このため、今後世界遺産推進課が所管する他の事業と調整のうえ、中～長期の計画的な調査事業の展開を図る。</p>		
事業評価	<p>【事業の達成度】 { a・b (c) }</p> <p>【事業実施の効果】 { a・b (c) }</p> <p>【総合評価】 { A・B (C) }</p> <p>世界遺産推進課が所管する他の事業と調整の結果、当該事業の着手を延期したことから、C評価とした。今後、本事業の優先順位を見直し、計画的な事業展開を図る予定である。</p>		

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。

3